

市民福祉活動団体

「陽だまり」事務局

東広島市高美が丘六丁十四丁十一

(〇八二四)三四一六五九

☆☆☆☆☆☆



# ハンドクラフト教室

総勢八十名大集合 また来年も



舞

陽だまり主催のハンドクラフト教室が夏休みを中心に、四回にわたって開催された。陽だまりとしてははじめての教室のことでもあってか総勢八十名の子どもたちが大集合。盛大なうちに多大な成果を挙げた。

子どもたちは来年も開催されること期待しながら夏の一日を過ごしたことであった。

なおこの教室のコーディネーターの鈴木巳代子さんは「一、二回はほとんどの女の子ばかり、どの子も集中し、おもしろい作品を黙って作っていました。できあがった作品を大切に持って帰っていき姿にホッとする。やってみるとホッとする。スタッフ一同胸をなでおろしていました。

全体をとおして、何にもましてうれしかったのは、子どもたちの表情が生き生きと、目を輝かして取り組んでいたこと、ある子はできるだけたく

回	開催日	教室名
1	7/23(火) 10:00-11:30	ステンシル (小さめのポーチとカードにステンシルをします。)
2	7/30(火) 10:00-11:30	エッグアートと折箱づくり (卵の殻に絵を描いてリボンで飾ります。折箱を折り紙で作ります。)
3	8/6(火) 10:00-11:30	パラシュートと紙ひこうきづくり (ビニール袋のパラシュートと、厚紙を切って紙ひこうきを作ります。)
4	8/27(火) 10:00-11:30	魚つり (紙に描いた魚、折り紙で作った魚などを棒も手づくりして魚つりをします。)



さんの作品を作るうとしたり、ある子は一つの作品に心いくまで時間を費やしていたり、作業が早くて、きれいに作る子、時間はかかりいまひとつかなと思える作品に、とても満足している様子の子、わたしたちスタッフも、子どもから学ばせてもらったような気がしたもの「でした。」とその手応えと成果のほどを存分に語っていた。

教室風景



市教委委託事業

## 生涯学習講座

第二回

### 「思春期と親子関係」

去る八月二十四日、教育アドバイザーであり、陽だまりの顧問でもある廣瀬吉夫氏をお招きし「思春期と親子関係」というテーマでお話をいただいた。氏によると思春期

とは「自分さがし」の時期であり、朝から晩まで「自分とは何か」という問いかけを無意識でやっている状態なのだそう。この時期が一生のうちで最も変化が激しく、「思春期はストレスの嵐の時代」と言われている。矛盾する態度をとったり、反抗的になったりと、この時期の子どもの接し方に戸惑う親も多いと思う。氏はこの時期の子どもの心理状態を詳しく解説し、子どもとどう向き合えばよいのか、幾つかの具体的な方法を提示された。その中でも特に印象に残ったのは、「斜めに対応する」ということ

今日のお話をうかがう前までは、思春期について漠然とした不安を感じていたが案外それ程恐れるものではないのかもしれない。これから思春期を迎える子を持つ親として、勇気が湧いてくる講座であった。(市川記)

第三回

### 「障害のある人の暮らし」

去る九月二十一日、陽だまり主催の第三回の生涯学習講座が、市民文化センターで開かれた。今回のテーマは「障害のある人の暮らし」であった。今回はパネルディスカッションの形をとりパネラーとして、障害をもつ立場から大竹保行氏・貞任義一氏ならびに障害をもつ子の親の立場から戸原ユウ子氏に登壇を願った。なおコーディネーターとして本会顧問の廣瀬吉夫氏が当たった。

年前からひとり暮らしをはじめ自立に立ち向かおうとしている。公的ヘルパー、地域のボランティア、陽だまり等の支援を受けながら生活している。その中であって積極的に外出し、人々とのふれあいの場を持つようとしている。貞任氏は仕事上の感電事故により、障害を受け病院、リハビリセンター等で治療と機能回復につとめてきた。氏は大竹氏同様障害にもめげずひとり暮らしの生活をしている。氏はひとの何倍もの気力と根性を駆使して生活している。公的ヘルパー・陽だまり等の支援を受けながら積極的に外出し、食事づくり等の教室に参加している。とりわけ氏は趣味というよりプロの腕前といわれるカラオケの道に励んでいる。戸原氏はご子息が学生時代に交通事故で、全面的な必要とするほどの傷害を受けた。長い病院生活から帰宅して以来、周囲の目が辛く、外出もままならない生活であったが、いまでは心のケアにとりくむなかで、盆踊り等の行事にも参加するようになり、いまでは就労センターのウイングに通って同世代の人たちとも積極的に交流できるようになった。

陽だまり抄  
陽だまりの活動もはやいもので複数年をむかえた。いわゆる活動が活発になるにつれ、その内実さまざまな問題をかかえながらの日々であると言つてよい。▲いわゆる俗に言う二年目のジングスといえる。▲同時に組織の在り様について考えてみなければならぬ。会員二百名にならんとする会であればあるほど、組織といふことについての再考がもたらされる。こまかくれば隣近所のつきあい感覚では将来性に陰りが予想される。▲名実ともに世間から法的に認められる存在にならないことには将来はないといえる▲将来性をみずえるとき、若いスタッフにも充分に魅力のある陽だまりの会に作り直していく必要にせまられていると、陽だまり抄子は思うのだ

登壇者の問題提起に対してのフロアーからの質疑応答があり、最後にコーディネーターのまとめによって討議は終了した。この討議に参加したもののみんな、障害者の自立共生・ニーズとは何かという課題にそれぞれ直面積した。陽だまり活動の大きなテーマのひとつともなった。―松山記―



ひろか

# ニカフの一口健康メモ

## インフルエンザ

二川尚美

### インフルエンザとは

インフルエンザウイルスが、鼻や口から侵入し咽頭や喉頭などの上気管に感染する。普通のかぜの一種ですが、普通のかぜとは症状が異なります。

### 予防法は

普通のかぜの予防法には「うがい、手洗い、人込みを避ける」などとしてウイルスに感染しないようにするのが有効ですが、インフルエンザの場合はそれだけでは不十分です。最も有効な予防法は「流行前の予防接種」です。

### どんな症状

突然三十八度から四〇度の高熱が出て2、3日続きます。同時に頭痛、悪寒、関節痛、筋肉痛、倦怠感などが起こります。時には嘔吐や下痢もありません。熱が下がりはじめるところになると咳や鼻水が出てきます。また、上気道の奥にある気管支や肺などに感染すると、痰が出たり、肺炎、気管支炎、心筋炎などを起こすこともあります。さらに、ウイルスの感染によって弱まった気道の粘膜に細菌が感染して、症状が長期間続くこともあります。

### お知らせ

六十五歳以上の乳幼児、呼吸器系に病気がある人、心臓の病気がある人、糖尿病など慢性疾患のある人」などは一応主治医にご相談のうえ、ワクチンの接種をお願いします。

### お知らせ

六十五歳以上の方及び六十歳以上の心臓・腎臓に重い病気がある方を対象に、予防接種費用の一部を東広島市が負担してくれまます。市内のかかりつけの医療機関へ直接予約し、接種して自己負担額八百円を直接お支払いください。

### インフルエンザ予防接種

#### 種のお問い合わせ機関

#### 東広島市保健センター

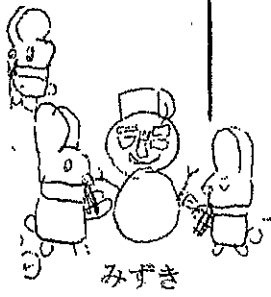
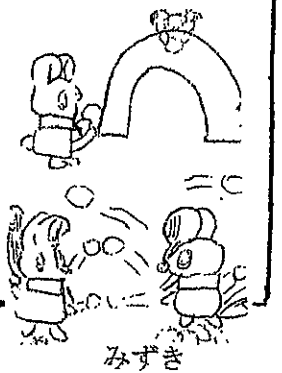
#### 保健課

TEL 22-3630

陽だまりの温もりを受けて今日もまた皆の後押し感じつつ行く

笑顔待つ馴染みの人を介護するいつかは吾も受けるみなれば

水仙



### 事務局だより

#### 陽だまり「ハイ」東広島ですに出演

十月六日に放映された東広島市の広報番組「ハイ」東広島です」において、陽だまりが紹介されました。「助けあい、支えあい、はげましあう」市民福祉団体陽だまり」というタイトルで、十五分にわたって陽だまりの活動の実際やそのしくみをわかりやすく紹介した内容となっております。番組を見た市民の方から早速問い合わせの電話もいただきました。番組を見損ねた方、興味のある方、ビデオがあります。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

#### 岩国介護ファミリーサポートセンター来訪

十月二十一日、岩国市にある「岩国介護ファミリーサポートセンター」(以下センターという)のスタッフが陽だまりを来訪されました。以前中国新聞に掲載された陽だまりの記事を読んで感銘を受けたということで、かねてから来訪の依頼があったものです。センターの母体は財団法人で、岩国市から委託を受けて

### 事業を運営しているそうです。実際の仕組みは陽だまりとまったく同じで登録した会員同志の助け合い活動となっております。

#### 健康福祉まつりバザール

十一月二、三日の両日、毎年恒例の「健康福祉まつり」が開催され、陽だまりも二日にバザールを出店しました。今年会場を東広島運動公園に移し「生涯学習フェスティバル」と共催で行われたため、子どもからお年寄りまで多くの市民が集うこととなりました。バザールの出店場所も体育館内だったので、今年雨の心配もなく、スタッフも安心して他団体の展示や催しなどを楽しみつ、店番をすることができました。今回のバザールの収益金は約二万八千円でした。

#### 会員の広場

陽だまりに入会して  
私は六ヶ月前に、ある会員の方のお誘いで入会しました。現在、週に二

### 遊休品を寄せて下さった皆さん、仕分け、値づけ作業を手伝って下さった皆さん、そして当日販売スタッフを務めて下さった皆さん、本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

#### 《市川記》

三時間「陽だまり」の活動をさせていたたいです。あまり日常生活にも負担にならず、結構生きがいを感じながら、楽しく活動しています。さて私事ですが、入会のお誘いを受けた時に、それには理由がありました。それは私の母が八十八歳の時、松江市を引き払い、この東広島市に来て九十三歳でなくなりました。当時私はある保健施設で介護士の仕事に従事しており、当然昼間は母だけの生活を余儀なくされていました。母にとっては大変つらい日々であったと思います。そこで昼時に短時間でもよいから話相手を見兼ねて、母のことを見たいだけの方を探しましたがみつかりませんでした。ところが、ちょうど私の求めている条件に合致

#### 編集後記

永く居て薄き冬日にあたたまる 草田男  
ほかほかした冬日の懐かしい季節になりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。陽だまり通信第八号をお届けします。世間では今年も悲しい暗い出来事が多々ありましたが、そんななかにあつて若い科学者のノーベル賞受賞のニュースは私たちに夢と希望と勇気を与えてくれました。今年も残り少なくなりましたが、来年はどんな年になるのでしょうか。佳い年になりますよう祈らずにはいられません。では皆さん佳いお年を!!(長子)